

君津市洪水ハザードマップ

4
亀山ダム
上流域



君津市洪水ハザードマップは、水防法第15条第3項に基づき周知するもので、洪水のおそれのある区域を示した図面です。避難場所をはじめ避難に役立つ情報を掲載していますので、災害対策にご活用ください。

避難情報等が配信される
君津市メール配信サービスに
登録しましょう。

QRコード

t-kimitsu@sg-p.jp

君津市公式LINE、X(旧Twitter)でも
防災情報を発信しています。

QRコード

LINE @kimitsu_city
X(旧Twitter) @kimitsu_city

君津市が作成した
各種ハザードマップが
確認・ダウンロードできます。

QRコード



君津市

千葉県君津市久保2-13-1
TEL.0439-56-1351 (建設部管理課)

令和6年2月作成

ハザードマップの使い方

1 自宅を見つけましょう
自宅が洪水浸水想定区域等に入っていないか確認しましょう。

ぼく達の家はここだ

2 避難する場所を確認しましょう
洪水からの避難方法を確認しましょう。立退き避難が必要な場合を想定して、適切な避難先を確認し、大きく印をつけるなどして災害時に備えましょう。

わたしたちの避難場所はここね

3 安全な避難経路を決めましょう
災害時には通れなくなってしまう道もあるので避難経路を複数決めましょう。

危険なところは避けていこう

4 実際に避難経路を歩いてみましょう
家族やご近所の方と一緒に歩いて、危険な箇所がある場合は、避難経路を見直しましょう。

危ないところはないかな？

5 家族で災害時の対応を話し合いましょう
自分が避難する必要があるか確認しましょう
洪水や大雨・がけ崩れの際の行動について、家族と話し合い、災害時の約束事を決めましょう。

6 学校やご近所で考えましょう
地域の防災訓練に参加するなど、災害や避難についてご近所で話し合い、情報を共有しましょう。高齢者など、避難に援護が必要と思われる方についても、みんなでできることを考え、避難の際に協力しましょう。

土砂・浸水・洪水の危険が迫ったら

気象情報や避難に関する情報を確認しよう！

災害の危険性が高まると、防災行政無線などで「**避難情報**」を伝達します！

避難情報等

警戒レベル	避難情報等	避難行動等
5	緊急安全確保 (君津市が発令)	既に 災害が発生している状況 です。 命を守るための最善の行動 をとりましょう。
4	避難指示 (君津市が発令)	速やかに危険な場所から避難 しましょう。 避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。
3	高齢者等避難 (君津市が発令)	避難に時間を要する人(ご高齢の方、体の不自由な方、乳幼児等)とその支援者は避難 しましょう。 その他の人は、避難の準備を整えましょう。
2	大雨注意報等 (気象庁が発表)	避難に備え、洪水ハザードマップ等により、 自らの避難行動を確認 しましょう。
1	早期注意情報 (気象庁が発表)	気象情報をチェックするなど、 大雨に関する最新情報に注意 しましょう。

防災気象情報

警戒レベル相当情報(例)
警戒レベル5相当情報 大雨特別警報(土砂災害)等
警戒レベル4相当情報 土砂災害警戒情報等
警戒レベル3相当情報 大雨警報(土砂災害)等

これらは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

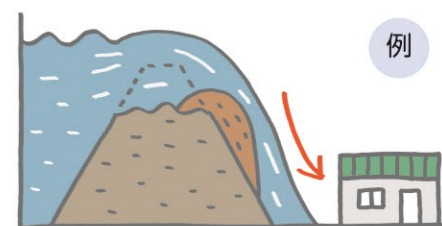
氾濫流(はんらんりゅう) 堤防の決壊に伴う激しい流れのこと

氾濫流による家屋倒壊等氾濫想定区域

木造家屋が倒壊するような堤防決壊等に伴う氾濫流の発生が想定され、早期の立退き避難が必要な区域。

※亀山ダム上流域に家屋倒壊等氾濫想定区域はありません。

倒壊する家屋は直接基礎の標準的な家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算しており、この区域の境界は厳密ではなく、あくまでも目安であることに留意してください。



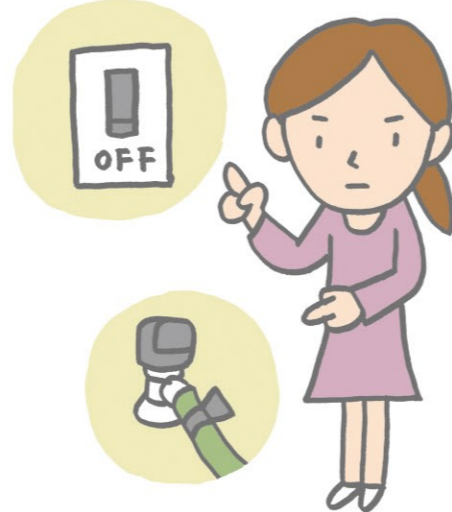
家屋倒壊等氾濫想定区域にお住まいの方は、気象情報や川の防災情報等で情報を収集し、速やかに避難できるよう日頃から準備をお願いします。

避難時の注意事項

災害時に避難するときは、普段通っている道でも足元が見えないことが多いので慎重に歩きましょう。また、頭上からの落下物や飛来物にも十分注意しましょう。いざというときに慌てないためにも、どこへ、どの道を通って避難するかを日頃から家族やご近所で話し合っておきましょう。

●火の始末、戸締り

台所や暖房器具の火を消しましょう。避難する前にブレーカーやガスの元栓を切りましょう。



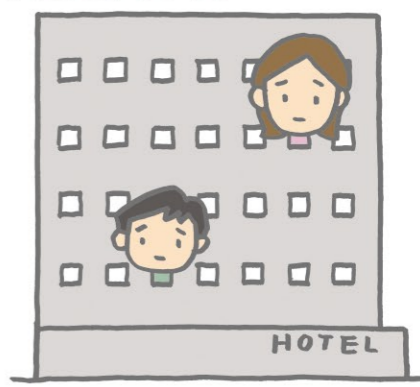
●慌てずに行動

避難経路の安全を確かめながら、落ち着いて行動しましょう。



●分散避難も考慮

避難所に多くの人が密集すると、感染症の感染拡大リスクが高まります。避難先として避難所以外に、ホテルや区域外の親戚宅・知人宅への一時避難や短期間の車中泊など、分散して避難することも考えておきましょう。



●家族にメモを残す

避難するときは、家族に連絡先などのメモを残したり、玄関ドアに張り紙で安否情報を周囲の人に知らせるなどしましょう。



●避難時は助け合おう

自力で避難することが困難な方は、早めの避難が必要です。お年寄りや子供が安全に避難できるように協力しましょう。



●家に引き返さない

土砂に巻き込まれる可能性があるため、忘れ物などを取りに、家に帰らないようにしましょう。



●避難が困難な場合

状況が切迫しており、家の外に避難することが、かえって危険な場合は、周囲の建物より比較的高い建物(鉄筋コンクリートなどの堅固な建物)の2階以上(斜面と反対側の部屋)に避難するなどしてください。



日頃の備え

備蓄品

災害時には、ライフライン機能の低下など都市機能の低下が考えられます。このため、各家庭で最低3日間、自宅を過ごす用意をしましょう

- 飲料水** ・飲料水は1人1日3リットル必要です。
・ペットボトルなどで、家族全員の分を用意しておきましょう。
- 食料** ・お米や乾麺、缶詰など、日持ちのするものをなるべく多く用意しておきましょう。
・普段の生活の中で十分に買い置きし、賞味期限が来る前に消費しながら定期的買い足すことで、無理なく備蓄ができます。(＝ローリングストック)
- その他** ・カセットコンロ(ボンベも忘れずに)、簡易トイレ(汚物処理袋)など用意しておきましょう。



非常持出品チェックリスト

※下記はあくまでも一例です。各家庭の事情に合わせたものを用意しましょう。

<input type="checkbox"/> スマートフォン(携帯電話)	<input type="checkbox"/> 歯磨きセット	感染対策品
<input type="checkbox"/> モバイルバッテリー(充電器・電池)	<input type="checkbox"/> ウエットティッシュ	<input type="checkbox"/> マスク
<input type="checkbox"/> 貴重品(現金・身分証明書等)	<input type="checkbox"/> タオル	<input type="checkbox"/> アルコール消毒液
<input type="checkbox"/> 非常食	<input type="checkbox"/> 持病の薬・処方箋	<input type="checkbox"/> せっけん
<input type="checkbox"/> 救急セット	<input type="checkbox"/> 割り箸	<input type="checkbox"/> 体温計
<input type="checkbox"/> 着替え・下着	<input type="checkbox"/> 洗料(ドライシャンプーなど)	
<input type="checkbox"/> 懐中電灯	<input type="checkbox"/> ビニール袋	
<input type="checkbox"/> 水	<input type="checkbox"/> 軍手	